

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013
December

No. 141

12



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 12

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- 平成25年産米集荷拡大推進
- こんにゃく生玉販売推進
平成25年10月21日～12月16日
- こんにゃく荒粉・精粉入札販売の実施
- こんにゃく製品セット冬期特別推進
平成25年11月1日～12月末日
- 菌茸類種駒・種菌予約推進
- 春期桑苗予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計雨除けほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計干し大根販売 (12月中旬迄)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計土ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)

販売促進課

- 冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 冬春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・きゅうり・アスパラ他)

- 平成26度産青果物段ボール予約注文取りまとめ
- 温床資材予約推進
(農ポリ・マルチ・こんにゃくマルチ他)
- 冬春用野菜種子推進 (ほうれん草・きゅうり他)
- 種馬铃薯納品

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
12月6日(金)～9日(月) フラワーギフトセール
12月26日(木)～31日(火) 歳末感謝セール
☆愛菜館
12月7日(土)～8日(日) 歳末ビッグセール
12月26日(木)～31日(火) 歳末感謝セール
12月8日(日)、18日(水)、28日(土)
8の日 お米特売

肥料農薬課

- 水稻培土早期引取推進
- 施設園芸肥料推進
- セルフブレンド推進
- 麦作除草剤推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- 「上州もみ切りうどん」・
「四季のめん詰合せ」推進 (10月～12月)
- こだわりみかん推進 (11月～12月)
- J A 高崎ハムお歳暮ギフトの推進 (11月～12月)
- 仕込み味噌推進 (25/10月～26/3月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成25年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 第2回クミアイガス器具特別推進



大植木祭り
(11.2～3)

■年に一度のビッグイベント

11月2日(土)・3日(日)、花木流通センターでは「大植木祭り」が開催されました。このイベントは、日頃から店舗を利用してくださっているお客様に感謝の気持ちを込めて、毎年行われています。会場には、県内優良生産者が栽培した植木や果樹苗木がずらりと並び、モツ煮の無料配布・くじ引き大会・だんべえ踊り・骨董市・松やバラの手入れ講習会等も行われ、多くの来場者で賑わいました。



第2回コンプライアンス推進全体職員研修会
(11.5 JAビル)

■コンプライアンス意識の統一を図る

11月5日(火)、「第2回コンプライアンス推進全体職員研修会」がJAビル大ホールにて開催されました。挨拶に立った須藤邦彦本部長は、「明るく・楽しく・元気よく、風通しの良い職場づくりに取り組んで欲しい。」と話しました。研修会では、理事長メッセージの放映や、平成25年度コンプライアンス推進・リスク管理実施計画の上期報告と下期の取り組みについての説明等が行われました。



サトイモ・サツマイモ収穫体験
(10.6 花木流通センター)

■収穫の喜びと楽しさを実感

11月6日(水)、花木流通センターの収穫体験農園において、近隣の保育園児を対象とした「サトイモ・サツマイモ収穫体験」が行われました。子供達は友達と協力し合いながら収穫を楽しみ、「先生見て！こんなに大きいよ！」と大興奮の様子でした。花木流通センターでは、「食農教育」に力を入れており、授業の一環として野菜苗の植付けや収穫を体験してもらうことで、食と農の大切さを伝えています。



平成25年度TAC管理者先進地視察研修会
(11.6～7 岐阜県)

■先進的な取り組みを視察

11月6日(水)・7日(木)、群馬県営農総合支援センターは、JAのTAC担当部課長・管理者等を対象に、担い手農家への対応強化を図ることを目的として、TAC活動に先進的に取り組んでいるJAめぐみのへの視察研修会を開催しました。研修には11JA・JA群馬中央会・当県本部の担当者21名が参加し、JA全農岐阜によるTAC活動状況説明を受けた後、JAめぐみのの活動事例等を学びました。



全農群馬県本部系統造成豚利用研究会
第26回枝肉フェスティバル褒賞授与式及び全体研修会
(11.15 渋川市内)



J A太田市沢野支所新築工事起工式
(11.16 J A太田市沢野支所)

■ 日頃の成果を称え褒賞

11月15日(金)、全農群馬県本部系統造成豚利用研究会は、「第26回枝肉フェスティバル褒賞授与式及び全体研修会」を開催しました。個体別雌の部では、(有)森田養豚と星野陽作さん(共にJ A赤城たちばな)、去勢の部では(有)齊田ファーム(J A赤城たちばな)と黒崎伸一郎さん(J A前橋市)、総合の部では星野陽作さんがそれぞれ最優秀賞を受賞しました。褒賞授与式後は、畜産経営活性化サポートツールについての研修も行われました。

■ 無事の竣工を祈願

11月16日(土)、「J A太田市沢野支所新築工事起工式」が開催され、J A太田市の役職員や工事関係者等と共に、設計及び施主代行を務める当県本部も出席しました。この工事は、現在の沢野支所の老朽化に伴い行われ、同敷地内に新築することで管内の組合員へのサービス向上を図ります。新しい支所は建築面積316㎡の平屋建てとなっており、来年の5月12日(月)にオープン予定です。



全農酪農セミナー 2013
(11.18 J Aビル)



第18回「群馬のこんにゃくは日本一だんべ！」
ジャンボ生玉コンテスト
(11.20 花木流通センター)

■ 酪農経営の維持・向上を図る

11月18日(月)、J A全農主催による「全農酪農セミナー 2013」が開催され、県内外の生産者やJ A関係者等、約130名が出席しました。セミナーでは、ワシントン州立大学教授のラリー・フォックス氏を講師に迎え「乳房炎とそのコントロール」と題した講演が行われました。T P P問題や飼料価格の高止まり等多くの課題を抱える中、生産性向上のヒントを得ようと参加者は熱心に受講していました。

■ コンテスト史上初! 30kg越え

11月20日(水)、群馬県蒟蒻生産協会主催による「第18回『群馬のこんにゃくは日本一だんべ!』ジャンボ生玉コンテスト」が開催され、15点が出品されました。審査員により、重量・バランス・キズ・栽培技術・栽培努力が評価され、厳正なる審査の結果、最優秀賞の「横綱」には、三木登美夫さん(J Aたのふじ)の生玉が選ばれ、コンテスト史上最高重量となる「30.75kg」を記録しました。



平成25年度きのこ視察研修会
(11.26 福島県)



農産物の安全・安心対策担当者会議
(11.27 J Aビル)

■被災地の取り組みを視察

11月26日(火)、群馬県きのこ振興協議会は、「平成25年度きのこ視察研修会」を開催し、生産者・J A・賛助会社・県・当県本部の担当者27名が参加しました。今回の研修会では、福島県いわき市で東日本大震災の苦難を乗り越え、高品質なシイタケ栽培に取り組む農事組合法人いわき菌床椎茸組合を視察しました。参加者は、安全・安心なシイタケを消費者に届けたいという思いを共有すると共に高度な栽培技術を学びました。

■農産物の安全・安心に向けた取り組みを強化

11月27日(水)、群馬県営農総合支援センター主催の「農産物の安全・安心対策担当者会議」が開催され、13 J A・J A群馬中央会・県・当県本部の担当者約30名が出席しました。会議では、「トレサビ(生産履歴記帳支援)システム」の稼働と「GAP(農業生産工程管理)手法」の導入についての検討や、J A太田市農産物直売所における「直売所システム」と「トレサビシステム」の連携についての事例紹介が行われました。



J Aグループ野菜振興対策会議
(11.27 J Aビル)



渋川家畜市場子牛出荷者研修会
(11.29 渋川市内)

■振興策を協議し情報の共有化を図る

11月27日(水)、群馬県営農総合支援センター主催の「J Aグループ野菜振興対策会議」が開催され、12 J A・J A群馬中央会・県・当県本部の担当者約30名が出席しました。会議では、県営農総合支援センターによる野菜振興取組実績と支援策の活用状況についての報告が行われるとともに、各J Aからは振興品目の具体策の実践状況の報告が行われ、野菜振興の取り組み強化について協議しました。

■生産性の向上を目指して

11月29日(金)、群馬県J A繁殖和牛部連絡協議会と当県本部共催による「渋川家畜市場子牛出荷者研修会」が開催され、生産者及びJ Aの担当者等約70名が出席しました。当日は、群馬県畜産試験場大家畜係長の浅田勉氏、永大獣医療サービスの小林永大氏、家畜改良事業団前橋種雄牛センターの清水一広氏を講師に迎え、育成技術や衛生管理、遺伝性疾患についての講演会が行われました。

夏秋ナス出荷量日本一を達成！

11.15 夏秋ナス出荷量日本一達成記念生産者大会 J Aビル

●会場の様子



11月15日（金）、平成24年の本県夏秋ナスの出荷量が全国1位（出荷量14,300トン）となったことから、これまでの生産振興の取り組みを評価し、更なる生産拡大を図ることを目的とした「夏秋ナス出荷量日本一達成記念生産者大会」が開催されました。この大会は、県及び群馬県

営農総合支援センターの共催で行われ、生産者・J A・県・当県本部等約200名が出席しました。挨拶に立った須藤邦彦本部長は、「出荷量が日本一になったことは、関係機関が一体となって生産拡大に取り組んだ成果であり、収量・品質向上等に積極的に取り組んでいただいた生産者のご努力の賜物である。」と述べました。

その後、宮城大学食産業学部准教授の菊地郁氏による「ナスの光合成産物転流に基づく摘葉技術の開発」と題した記念講演や、生産者及びJ A営農指導員・普及指導員による「ナスが群馬県農業を元気にする！」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。また、大会の最後にはJ A甘楽富岡ナス生産部の高橋孝部長による大会宣言により、更なるナス生産の飛躍を誓いました。

●大会宣言を行う高橋部長



2014年JA全農ぐんまオリジナルカレンダー完成！



協力：富岡製糸場

2014年のカレンダーが完成いたしました！カレンダー用写真にご応募をいただきまして誠にありがとうございます。引き続き、2015年カレンダーの作成にあたり写真を募集いたします。どうぞ奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

●募 集 要 項 ●

- テーマ
農のある風景（群馬県内）
- 応募期限
平成26年7月31日（木）
- お問合せ・提出先
全農群馬県本部 管理部 企画開発課
Tel (027-220-2223) / Fax (027-220-2229)
E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp
- その他
詳細につきましては、本誌平成26年5月号に掲載予定です。

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
新春対談／J A群馬中央会	1月6日(月)	PM 9:00～9:30
	※ 1月12日(日)	AM 8:00～8:30
群馬の農業を支える男たち／J A群馬中央会	1月13日(月)	PM 9:00～9:30
	※ 1月19日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子アナ

がんばってまーす!

INTERVIEW

JA利根沼田 営農事業本部
営農部 生産資材課

峯川 正幸さん

Profile

みねかわ・まさゆき（37歳）

趣味.....ゴルフ

好きな食べ物.....肉

嫌いな食べ物.....特になし

●職場の皆さんから見た峯川さん

「いつも面白いことを言って、場を和ませてくれます。相談にも親身になって答えてくれる、頼もしい先輩です!」

「信頼される職員を目指して」

——現在の仕事内容を教えてください。

温床資材の担当として、各支店からの注文を取りまとめ、配送準備を行っています。簡単に言えば、物流センターのような役割ですね。

——以前はどのような仕事をしていたのですか？

入組後、3年間は購買の窓口業務を行っていました。その後、現在の部署で肥料や種苗等様々な担当を経て今に至ります。

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

もともと食べることが大好きで、「食」に関する仕事に就きたいと思っていました。そこで、食に繋がる農業にも興味をもつようになり、JAへの就職を決めました。

——どんな時にやりがいを感じますか？

現在の仕事は、物流の中核として様々な商品の問い合わせにも対応しなければならなりません。知識と経験をもとに迅速な判断が求められる為、責任感の伴う業務です。

だからこそ、「早く届いて助かったよ」という組合員さんの声を聞くと嬉しいですし、やっていて良かったと思いますね。

——仕事をするにあたり、気をつけていることはありますか？

後輩の職員に対して、自分が先輩方に色々教えてもらった時のことを思い出しながら指導しています。今の自分があるのは、周囲の皆さんのおかげです。また、チームワークも大切にしています。

——そんな峯川さん、ゴルフが趣味だそうですね。

はい。休日は、友人と一緒にプレイしています。大自然の中で体を動かすことでリフレッシュしています。

——他にもスポーツをしていますか？

今はしていませんが、中学時代は柔道を、高校・大学時代は弓道をしていました。武道の精神は、今でも大いに役立っています。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

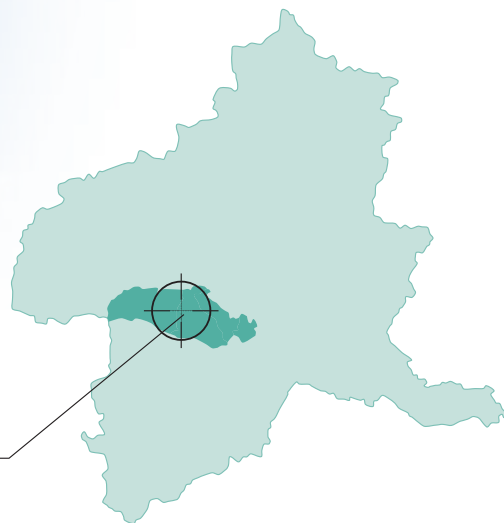
自分の仕事は、組合員さんや現場の職員が求めているものを早く正確に届けることが重要です。様々な商品に対応できるよう、周囲とコミュニケーションを図り、情報の共有化に努めています。今後も、信頼できる職員を目指し、仕事に邁進していきたいです。そして、組合員の皆さんと一体となって地域農業を盛り上げていきたいと思っています。

熱い思いで前進し続ける峯川さん。お忙しい中ありがとうございました。



農業 チャレンジャー

JAはぐくみ



人生の転機 農業の道へ

JAはぐくみ管内 和田 友充 さん



和田 友充(わだ・ともみつ) さん

1963年生まれ、50歳。

JAはぐくみ国府果菜苗組合に所属。
群馬県央農継会の会長を務める。

果菜苗年間出荷量：13万本
白菜・たまねぎ栽培面積：20a

心機一転、農業への挑戦

今回のチャレンジャーは、国府地区で両親と共に農業を営む和田さんです。5年前までは塗装業に就いていたという和田さん。就農のきっかけを伺うと、「幼い頃は、両親の働く姿を見て農業の大変さを感じていました。しかし、職人として働くうちに、定年がなく自由に行える農業に魅力を感じるようになりました。」と話してくれました。実際に農業を始めてみると、幼い頃のイメージとは違い、面白さを感じたそうです。「最初は父親の姿を見て作業を覚えました。自分の場合、耳で聞くよりも目で見て考える方が身に付くので。あの頃は必死でしたね。」和田さん。負けず嫌いゆえに、『やるからにはとことんやる』という思いが強かったといいます。

地域農業振興への取り組み

現在、果菜苗を中心に白菜やたまねぎの栽培を行っている和田さん。JAはぐくみ国府果菜苗組合に所属すると共に、農業青年組織である群馬県央農継会の会長を務めています。「農継会では、消費者の農業への理解促進や食育を図るた

め、イベントへの出展やボランティア活動、農業交流会の企画等を行っています。会員は20代から50代まで幅広く、農家同士の交流の場ともなっています。消費者のニーズに応え、時代に合った農業にしていくなためにも、若手の意見を積極的に取り入れていきたいですね。」和田さん。協同して地域農業の活性化に向けた活動を行うことに意味があるといいます。

こだわりの果菜苗に自信

和田さんに今後の展望を伺うと、「私が所属している国府果菜苗組合では、丹精込めて育てた良質な苗を出荷しています。消費者の方に『この苗が一番いい』と思ってもらえる自信もあります。今後は、販路拡大に向けて新品種への取り組みや県外へのPR活動も必要と考えています。といっても、農業に関してはまだまだ修行中。現状を維持し周囲から信頼を得るためにも、今は一生懸命やるだけです。」と話してくれました。自身の体験から、子供達にも様々な経験をして欲しいという和田さん。一家の大黒柱として、熱い思いで前進し続ける姿に、今後の活躍が期待されます。



1



2



3



4

- 1 現在、13種類程の果菜苗を栽培しているという和田さん。常に新しいことに挑戦したいと話す。
- 2 出荷を待つ果菜苗。灌水には特に気を使っているそう。
- 3 今(11月)はたまねぎの定植時期。作業をしているのは和田さんのご両親。
- 4 白菜の圃場。立派な白菜がずらりと並ぶ。

畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は11月25日に10月の牛乳乳製品統計を公表した。10月生乳生産量は60万8,496tで前年同月比3.0%の減となった。北海道は31万6,327t（前年同月比3.8%減）で生産量の全国シェアは52.0%となった。

都府県の生産量は29万2,169tとなり、前年同月比で2.3%減少した。

■販売及び乳製品情勢

10月の用途別処理量は、牛乳等向けが35万0,359t（前年同月比1.7%減）、乳製品向けが25万3,213t（〃4.8%減）となった。

飲用牛乳等生産量は31万4,046kl（〃1.1%減）で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が27万2,284kl（〃1.0%減）、さらに乳飲料は12万4,798kl（〃1.4%減）で前月より1.6ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
生 乳 生産量	全 国	644,121	594,620	664,447	650,222	671,097	638,214
	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599	19,959	18,641
用途別 処理量	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558	6,640	6,158
	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209	346,307	346,396
	乳 製 品 向 け	318,662	288,565	339,160	321,246	320,073	287,092
	そ の 他 向 け	4,918	4,854	4,716	4,767	4,717	4,726
前 年 対 比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1	100.0	99.4
	〃 (群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1	99.8	99.5
	〃 (本会)	97.3	93.2	96.1	105.7	106.4	106.2
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9	98.8	98.6
	乳 製 品 向 け	101.0	100.9	101.4	101.4	101.3	100.4
7 月		8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
632,103		607,577	593,120	608,496			6,304,017
18,295		17,574	17,052	17,591			184,787
5,996		5,665	5,601	5,768			59,589
349,569		328,957	353,511	350,359			3,341,621
277,756		273,978	234,854	253,213			2,914,599
4,778		4,642	4,755	4,924			47,797
98.1		96.5	98.2	97.0			98.6
99.4		98.4	98.9	98.0			98.8
106.1		104.4	107.7	103.9			102.7
100.4		99.0	97.9	98.3			98.2
95.4		93.6	98.8	95.2			98.9

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(12月予想) 年末の最需要期となり強持合いの展開。和牛は4等級は動きがある見込みだが、低価格志向を反映し5等級が伸び悩むとの見方がある。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,350円中心
和牛去勢A4 2,100円中心

和牛去勢A3 1,950円中心
和牛去勢A2 1,630円中心
交雑去勢B5 1,840円中心
交雑去勢B4 1,540円中心

交雑去勢B3 1,350円中心
交雑去勢B2 1,300円中心
乳牛去勢B2 800円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均・計
和牛 去勢 A4	24 年	1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25 年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999		1,836
	前年格差	144	283	248	145	188	236	200	242	247	247	223		198
和牛 去勢 A3	24 年	1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25 年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852		1,686
	前年格差	271	385	299	234	235	234	219	300	291	285	260		249
和牛 去勢 A2	24 年	1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25 年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579		1,472
	前年格差	162	353	326	275	132	207	192	218	283	286	194		219

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均・計
24 年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25 年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584		12,271
前年増減	▲ 42	191	▲ 269	▲ 34	84	▲ 269	▲ 341	▲ 308	▲ 293	▲ 174	▲ 303		▲ 3,426

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 473円/kg(前月比105.8%)
②F1価格(去勢) 250~300kg 1,135円/kg中心(雌) 250~300kg 1,061円/kg中心
③和牛子牛(去勢) 574千円中心(前月比105%) (雌) 490千円中心(前月比104%)

養豚情勢

枝肉相場関係

（株）群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年(A)		400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年(B)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(C)		363	390	404	450	499	485	498	507	499	466	477		458
(B-A)		▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
(C-B)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74	101	119		46

豚肉価格形成要因

（株）群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823		453,126
前年比(%)		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2	92.0	105.3	98.0	105.4	101.8	91.7		89.8

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月	12月	10～12月	1月	2月	3月	1～3月	4月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,374	1,319	1,358	4,051	1,542	1,510	1,568	4,620	1,461	1,344	1,419	4,224	1,444
前年同月比(%)		104	99	106	103	101	99	103	101	101	101	102	101	100

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、12月の出荷見込頭数は1,568千頭（前年同月比103%）となっている。その後は1月1,461千頭（〃101%）、2月1,344千頭（〃101%）と予想されている。旺盛な需要に支えられ、強含みで推移する見込み。しゃぶしゃぶ用の引き合いが強く、バラや肩ロースに不足感が出てくる可能性がある。業者は早めの手当てに動いており、特に上旬は高値で推移するとの見方が強い。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年12月285円（見込み） 124%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年(B)		171	190	175	172	164	155	157	175	211	220	260		186
(B-A)		22	5	▲3	▲10	▲4	▲6	▲3	18	35	27	51		7
全国基金	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
補填	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0	0	0		

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：11月の平均単価は260円（前年同月+51円）と前年同月を上回り、平成24年12月～平成25年11月期平均は190円（前年同期比+14円）であった。

■出荷動向：上期に取り組んだ生産調整で供給が絞られ、そこに年末需要が加わり強含みの展開。気温低下で餌食いが活発になり、卵重は増え大玉比率が高まる。

■需要動向：忘年会やクリスマス、年末年始用の引き合いが強まる。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
実績(t)	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867				18,445
前年比(%)		78.0	101.6	79.7	128.2	93.5	80.8	86.7	99.0	71.6				66.6
餌付羽数	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
(千羽)	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346			75,068
前年比(%)		97.0	98.1	93.2	97.9	98.6	101.5	92.7	98.4	108.4	94.1			82.3

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (7) 21年:175円
(2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (8) 22年:194円
(3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (9) 23年:188円
(10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

11月8日に2カ月ぶりに発表された米国農務省によると、旧穀12/13年度の供給量は前回発表からほぼ変わらず11,932百万ブッシェルであった。需要量は、飼料向け、エタノール向け、輸出向けの各需要が実績に基づき下方修正されたことから、前回発表から162百万ブッシェル減少し11,108百万ブッシェルであった。期末在庫は、前回発表から163百万ブッシェル増の824百万ブッシェル（在庫率7.42%）となった。

新穀13/14年度の供給量は、作付面積及び収穫面積が下方修正されたものの、単収が160.4ブッシェル/エーカーと前回発表から5.1ブッシェル/エーカー上方修正され、生産量が増加したことに加え、期首在庫も増加したため、前回発表から307百万ブッシェル増加し14,837百万ブッシェルとなった。一方、需要量は、米国産とうもろこしの豊作見通しを受け、飼料向け及び輸出向け需要が上方修正され、前回発表から275百万ブッシェル増加し12,950百万ブッシェルとなった。期末在庫は前回発表から32百万ブッシェル増の1,887百万ブッシェル（在庫率14.57%）であった。

シカゴ定期は、コーンベルト地域では収穫に適した天候が続き、軟調に推移している。現在は420セント/ブッシェル付近で推移し、今後も収穫が進むにつれて明らかになる新穀の単収、エタノール需要、さらには中国による買い付け等に注目が集まっている。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、輸出需要の高まりから底堅く推移している。

②大豆粕

11月8日発表の米国農務省需給見通しによると、旧穀12/13年度は収穫面積及び単収の上方修正などを受け、先月より15百万ブッシェル増加して供給量は3,239百万ブッシェルとなった。需要量は、輸出向け需要は増加したものの、搾油向け需要等が減少したため、前回発表と同様の3,098百万ブッシェルとなり、結果として期末在庫は前回発表から16百万ブッシェル増の141百万ブッシェルとなり、在庫率4.55%となった。

新穀13/14年度の大豆需給見通しは、単収の増加が見通されていることなどから、生産量が増加し、前回発表より124百万ブッシェル増加した。一方、需要量については、生産量の増加を受け、輸出向けが増加したことに加え、搾油向け需要の増加も見込まれていることから、前回発表より103百万ブッシェル増加して、3,243百万ブッシェルとなる。この結果、新穀13/14年度の期末在庫は前回発表から20百万ブッシェル増加の170百万ブッシェル、在庫率5.24%となった。

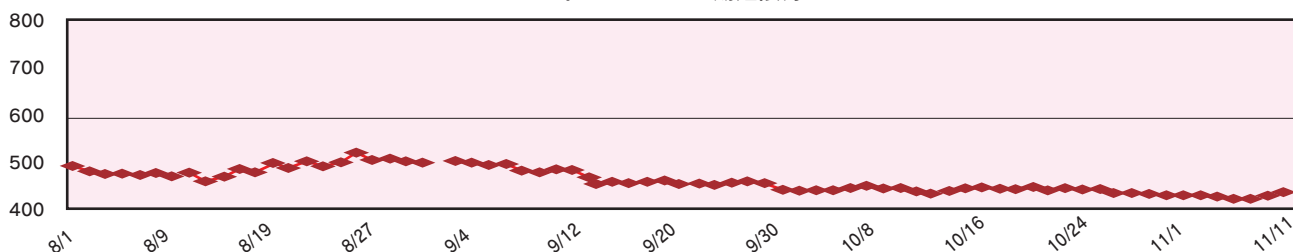
大豆粕のシカゴ定期は、全米大豆の在庫数量が予想を上回ったことなどから軟調となり、11月初旬には400ドル前後であったが、現在は410ドル台で推移している。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、年末年始休暇に向けて貨物が減っていくことから下げ傾向はみられるが、中国向けの貨物は引き続き堅調に推移するとみられており、一部では年末前の駆け込み船確保が予想されることもあり、底は浅いという見方もある。現状は52ドル付近で推移している。

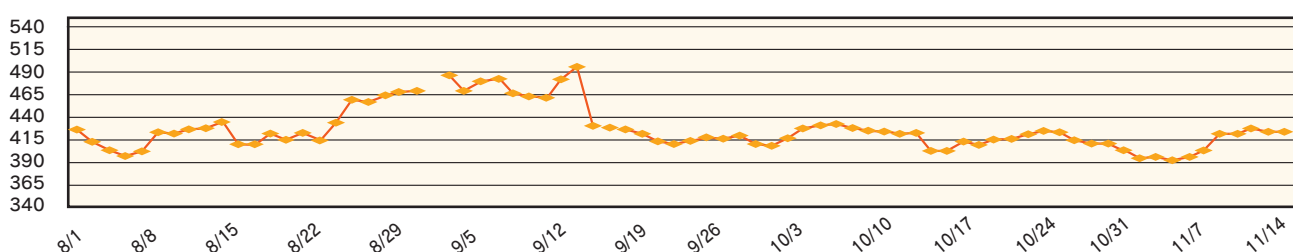
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



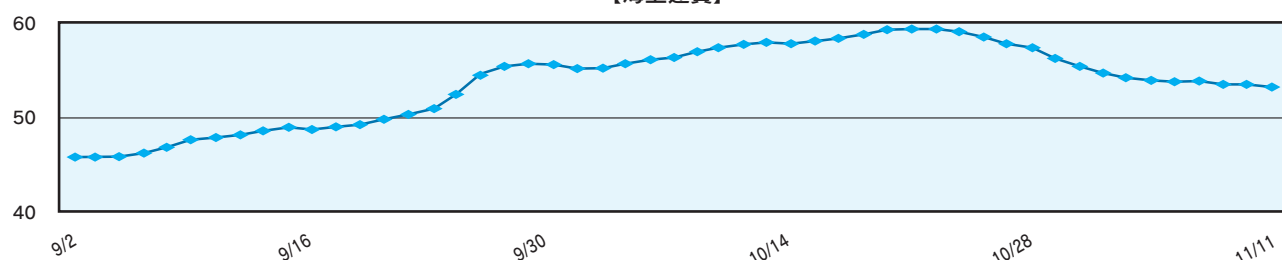
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターでは、平成26年1月25日(土)～26日(日)の2日間、「特選洋ランフェア」を開催します。シンビジウム・カトレア・胡蝶蘭等の各種洋ランを大特価で販売する、毎年大人気のイベントです。25日(土)には、「午前市」と「いちご祭り」も同時開催となっておりますので、是非ご利用ください。



1月の売出し・イベント案内

開催日	内 容
1月6日(月)	平成26年営業開始 ※愛菜館は1月8日(水)より営業開始
1月25日(土)	午前市 ※愛菜館も同時開催
1月25日(土)	いちご祭り
1月25日(土)～26日(日)	特選洋ランフェア

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

JA全農ぐんま グッドぐんまの旬の市



- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号 TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

旬の市1月のイベント案内

1月1日(水)～5日(日)	年始フェア 日本酒・甘酒・串こんにゃく他販売
1月25日(土)～26日(日)	成人式フェア 日本酒・地ワイン試飲販売

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
を
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



豚バラ肉のきりたんぽ風トマトソース

材 料

2人分

(1人前581kcal)

ご飯……茶碗2杯分 粉山椒 …… 小さじ1/3
パルメザンチーズ…………… 小さじ1
豚バラ肉薄切…………… 100g
オリーブオイル…………… 大さじ1弱
A トマトソース…………… 1/2カップ
トマトケチャップ…………… 大さじ2
水 …… 1/2カップ強 赤ワイン …… 大さじ1
ローリエ …… 1枚 塩・コショウ …… 少々
フレッシュバジル…………… 4枚

作り方

- 1 ご飯をボールに入れ、すり棒でつき、餅状になるまでこねる。
- 2 1に粉山椒・パルメザンチーズを加え、更につく。これを4等分にする。
- 3 割り箸に2を巻きつけ、長細いきりたんぽ状にする。
- 4 豚バラ肉に軽く塩コショウをし、3に巻きつける。
- 5 オリーブオイルを入れたフライパンを熱し、4を焼く。
- 6 表面に焼き色がついたらAの材料を加え、転がしながら弱火で煮込む。
- 7 6を器に盛り、フレッシュバジルをそえる。